

勤 善 懲 惡 錦 画 圖 解

第八號

世の中不何をほろ江の三丁目

まき積り山川太助の女房せられたる名が若成る心不強て
 や去四月廿六日世を宇治川のおろりなるちの方へ尋ねて日
 をふ雨ふ水も増え宇治の川づら打味と泡沫夢や佛も
 と浮く此世こそ追何あふんと思ひ絶水の冷や宇治が
 こふ身を投るはつと故と誰自腹を浮沈むを折ぐは伏見
 第四區なる堀口治助とふ人通りりり此懸を打驚
 急ふ宇治川不隔今流る女を抱きと辛りて助け
 舉るに本より切され鳩尾の巧り聊やこの有
 をまき焚火をきて暖めつと度と介抱する
 壽命やつまざらん漸くかゝと養生し
 依りて其住所を問ひ早速京都府へ
 届ふに京都府より大坂府へ
 届合ふに女美引
 度ふを堀口治助
 身捨て女を救ひ
 して神妙なるを
 京都府と御賞
 詞有て金七拾五
 錢賜りしとむ



出版所

本町四丁目
藤井時習

表